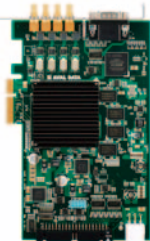


FA 画像入力処理ボード

(株)アパールデータは、カメラ4台を同時に接続できるCoaXPressインタフェース画像入力ボード「APX-3634」を開発し、販売開始した。本製品は、CoaXPress Single /カメラ4台を同時に接続できるマルチカメラ画像入力ボード。2GByteのバッファメモリを搭載している。システムバスPCI Express 2.0 (Gen2) 5.0GT/s×4により、高速な画像取り込みが可能。またPoCXP機能を実装してカメラへの電源供給が可能。外部機器との連携、割り込みの生成ができ、ストロボタイミングの出力に対応している。



株式会社アパールデータ TEL.042-732-1030

FA 有線式操縦装置

(株)エンルートラボは、トンネル内点検ロボットや、無人車両、無人潜水艇用の有線式操縦装置を開発した。本製品は、無線電波の届きにくい曲がったトンネルや、煙突、パイプ内の点検用ロボットの遠隔操縦に使用する有線式の遠隔操縦装置。ロボット側の装置には、2系統のカメラモジュールが装着されており、カメラ映像を確認しながらの遠隔操縦が可能。有線のデータ伝送ドライバにFA用の伝送ICを採用し、ノイズ耐性が高くなっている。電気配線のあるパイプ内などでも安定した操縦を可能としている。



株式会社エンルートラボ TEL.049-293-4567

FA ロボットケーブル

沖電線(株)は、高屈曲ロボットケーブル「ORPケーブル・シリーズ」の新たなラインナップとして、「ORT-TWケーブル」を販売開始した。本製品は、ORPケーブル・シリーズの中でも、シリーズトップの販売実績を誇るORPスリムケーブルをベースに、捻回時の耐久性に特化して構造の最適化を図ったケーブルである。捻回に対する耐久性は、従来品と比較して最大約20倍もの向上を実現。また捻回スパンが100mmという狭い環境においても、1,000万回を超える耐久性を実現。さらに、屈曲や、摺動の動きに対しても高い水準で耐久性を確保しているため、ロボットをはじめとする産業機械のハンドリング部やアーム部など、複数の回転機構を有する複雑な屈曲部や摺動部での幅広い用途における利用が可能である。



沖電線株式会社 TEL.0120-087091

FA 緑色半導体レーザ

シャープ(株)は、ディスプレイ光源に適した緑色半導体レーザの2モデル「GH05130 B2G」と「B5G」の量産を11月中旬より開始する。半導体レーザは近年、光ディスクの読み取り/書き込みだけでなく、プロジェクタの光源など映像分野にも活用の幅が広がってきている。本製品は、ユーザの要望により光の強さやレーザ光の形状などの光学特性や電流値などの電機特性の調整に応じることで、開発期間の短縮や調達業務の負荷軽減に貢献。波長:515nm、光出力:30mW、標準タイプの直径:5.6mmとコンパクトな直径3.8mmの2種類の金属パッケージを揃えている。また今回、緑色レーザがラインナップに加わったことで、同社は業界で初めて1社から光の3原色(赤・緑・青色)の半導体レーザを提供することが可能となった。



シャープ株式会社 TEL.084-940-1920

セキュリティ リモートビューアユニット

TOA(株)は、映像の遠隔監視・制御を行うセキュリティ用途のネットワークカメラ「TRIFORAシリーズ」を拡充し、複数の監視拠点での映像閲覧を可能にする「リモートビューアユニット」を発売した。リモートビューアユニットは、主となる監視拠点とは別の場所に設置することで、拠点同様の映像閲覧機能を最大8か所まで増設することが可能。監視拠点の複数化により、安全管理の精度向上に貢献する。また、縦置き設置が可能な省スペース型で、操作は本機に接続したUSBマウス/キーボード等(別売)で行う。機能面では、特定カメラのフルスクリーン表示、最大24画面分割による複数カメラの一括表示などの表示機能、時刻や記録内容による再生映像の検索・表示(最大4分割)機能、USBメモリなどのメディアによる記録映像取り出し機能を備えている。



TOA 株式会社 TEL.078-303-5631

セキュリティ ドーム型ネットワークカメラ

ディーリンクジャパン(株)は、屋内向けフルHDドーム型監視カメラ「DCS-4603」を販売開始した。本製品はフルHDの解像度に対応しており、3メガピクセルCMOSセンサを搭載、10倍デジタルズームに対応している。デイ&ナイトモード機能を備えており、デイモード動作時のICRカットフィルタによる赤外線除去や、ワイドダイナミックレンジ(WDR)機能により逆光などで暗くなった部分や明るすぎて白とびした部分を自動で補正するなど、日中時の撮影の阻害要因の低減化を行うことが可能。また監視カメラとして動態検知を搭載しており、監視エリア指定や検知感度調整、プライバシーマスク機能などに対応している。さらに、小中規模で利用する場合、対応するネットワークビデオレコーダ「DNR-312L」により同時9台まで録画が可能。



ディーリンクジャパン株式会社 <http://www.dlink-jp.com/>

セキュリティ 防犯カメラ

(株)日本防犯システムは、PTZカメラ「PF-CW1023」を発売した。本製品は、距離や場所を問わず、リアルタイム画面での監視を可能にするネットワークカメラである。DSP圧縮チップをカメラに搭載することで、フルHD(1,920×1,080p)までの各解像度に対応したリアルタイムでのフルフレームレート撮影を実現。「パン」「チルト」「ズーム」の3機能を備え、PTZ制御にも対応しているため遠くの間所まで広範囲をモニタリングできる。また、従来品の「PF-AHD808」と共通の形状なため、天井や壁面に取り付ける際に固定台となるブラケットなどの付属品を「PF-AHD808」と共用可能。さらにLANケーブルでの電力供給を可能とするPoE給電に対応しており、一般的なLANケーブル[RJ-45ケーブル]をカメラのネットワークポートに差し込むだけで、配線作業が完了できる。



株式会社日本防犯システム TEL.03-6809-1217

セキュリティ 4K ネットワークカメラ

(株)LISWAYは、超高精細・コストパフォーマンスに優れたH.265(HEVC)方式の4Kネットワークカメラを発売した。本製品は、ユーザーからの“もっと細部までくっきり見える防犯カメラが欲しい”“HDD容量やネットワーク負荷をこれ以上増やしたくない”といった要望に対応した、ワンランク上の防犯システムを低コストで構築可能なネットワークカメラである。本製品の主な特長は次のとおり。
●H.265(HEVC)コーデック方式 ●4K超解像度 ●800万画素CMOSセンサ ●スーパー-WDR ●4K-H.265(HEVC)対応ネットワークレコーダ対応 ●カメラ電源工事不要(Power over Ethernet<PoE>受電) ●スマホから簡単視聴可能(P2Pモード) ●標準インタフェース規格ONVIF Profile S



株式会社 LISWAY TEL.044-344-6592

放送 高性能 EDID エミュレーションバッファ

(株)アイ・ディ・ケイは、4K@60(4:4:4)、HDCP2.2に対応する高性能EDIDエミュレーションバッファ「DDC-03UHD」を発売した。本製品は、システム内でのEDIDをエミュレートすることで、映像表示機器や伝送機器のスペックを超えた信号が伝送されないようにソース機器の映像・音声出力をコントロールする。また、入力部のケーブル補償機能と、伝送路によって劣化した入力信号を再構築するクロックデータリカバリを搭載。映像信号の長距離伝送が可能。本製品の主な特長は次のとおり。
●4K@60(4:4:4)対応 ●HDCP 1.4/2.2 対応(パススルー)
●HDR対応 ●3D対応 ●内蔵EDIDに音声情報の付加が可能
●EDIDエミュレート機能(コピー機能付) ●CEC対応(パススルー)
●DDCバッファ搭載 HDCP入力禁止機能



株式会社アイ・ディ・ケイ TEL.046-200-0764

放送 HDMI 切替器

(株)アイ・ディ・ケイは、4K@60(4:4:4)、HDCP2.2に対応するHDMI切替器「IMP-400UHD」を11月に発売する。本製品は、選択したデジタル音声入力をアナログ音声に変換して出力する。入力チャンネル自動切替機能搭載により、スイッチ操作なしで映像切り換えも可能。制御用通信ポートとして、RS-232CとLANを装備。また、外部制御インタフェースとして接点入力/タリ-出力を装備しており、LED付スイッチを使用したコントロールパネルからのリモート制御にも対応。本製品の主な特長は次のとおり。●4K@60対応(4:4:4) ●HDCP 1.4/2.2対応 ●HDR対応 ●3D対応 ●HDMIエンベデッド音声を実アナログ音声で出力可能 ●RS-232C、LAN、接点入力 ●EDIDエミュレート機能(コピー機能付) ●DDC/バッファ搭載 ●入力チャンネル自動切替 ●シーケンシャル切替 ●ラストメモリ機能



株式会社アイ・ディ・ケイ TEL.046-200-0764

ディスプレイ HDR リファレンス モニタ

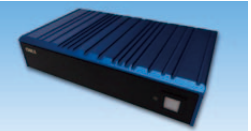
EIZO(株)は、HDR映像制作向け31.1型HDRリファレンスモニター「ColorEdge PROMINENCE CG3145」を12月に発売する。本製品は、画面に白べたを表示した場合でも輝度を下げることなく1000cd/m²までの高輝度を安定して表示できる。新型のIPS液晶パネルと高輝度バックライトユニットを組み合わせることで、100万:1の高コントラスト比を実現。明暗部分が混在するHDR映像でも、明るい部分が白飛びしたり、暗い部分が黒つぶれしたりすることなく正しい表示ができる。また、高コントラスト比を実現しつつ、バックライトを分割制御することで達成している高いコントラスト比が原因で発生する「ハロー」と呼ばれる現象を抑制。また、配信・映画制作向けの「PQ方式」と、放送向けの「Hybrid Log Gamma方式」、両方のHDR特有のガンマ(入出力特性)に対応した表示ができる。



EIZO 株式会社 TEL.076-277-6795

情報・通信 映像 IoT システム

沖電気工業(株)は、映像IoTシステム「AISION」を販売開始した。本システムに映像データの符号化形式、解像度、フレームレートを変更せず、画質は劣化させない高品質の映像のまま映像データを最大約1/10に圧縮できる技術を「映像IoT-GW」に映像圧縮モジュールとして搭載することで、ストレージ量も伝送時のネットワーク帯域も最大約1/10と軽減され、映像品質を維持したままランニングコストの大幅削減を実現する。また、画像センシングモジュールを搭載することで、ネットワークエッジでの画像認識や解析処理による機能分散が可能となり、センターサーバによる解析処理の負荷軽減を図った映像IoTシステム構築を実現し、店舗、工場から社会インフラまで幅広い市場に対して、顔認識をはじめ、通行者認識、車両認識、動物認識などの様々な画像センシング技術を利用した付加価値サービスを提供する。



沖電気工業株式会社 TEL.03-5445-6014